

## 2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	障がい者福祉の体験		
担当者	朝比奈茂、宮川路子		
実施時期	2017年8月3日～31日	日程	3泊4日もしくは2泊3日 (選択したプログラムによって異なります。)
実施場所	〒379-0226 群馬県安中市松井田町行田 52 ゆきわりそうの山荘		
協力機関	NPO法人 ゆきわりそう (担当者: 姥山剛 豊島区南長崎 6-34-7)		
募集人員	20名程度		
学習目的	障がい者の方々と共に寝食を過ごすことで、福祉活動の大変さおよび大切さを実際に体験し、人間としての生き方を実感する、人間形成のためのフィールドスタディ (FS) である。このプログラムは、FS 開始以来のロングラン・プログラムである。		
行程	<p>1日目: 東京都豊島区の「ゆきわりそう」本部からバスで出発する。</p> <p>2,3日目: プログラムに従って、山荘で担当する障がい者と一緒に行動し、寝食をともにする。</p> <p>4日目: バスで東京に戻る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プログラムには、ゴロ野球、体操、絵画、音楽、乗馬、マラソンなどがある。参加者はゆきわりそうと相談の上、プログラムを決める。</li> <li>・ 障がいの程度によって、プログラムが分かれるので事前講義で確かめること。</li> </ul>		
宿泊場所	〈住所〉 〒379-0226 群馬県安中市松井田町行田 52	施設名	ゆきわりそう山荘 Tel027-380-7088
費用	5,000円 (食事、交通費を含む)		
事前・事後 講義の予定	事前講義 : 6月3日 (土) 17時～19時 事後講義 : 10月中旬 (詳細未定)		
注意事項	<p>1) プログラムを決定したら、実習前にゆきわりそう本部を訪れ、担当者と打ち合わせを兼ねて施設見学などしておくこと。</p> <p>2) 参加許可後に、キャンセルをしないこと。</p> <p>※キャンセルをした場合でも、費用負担をして頂きます。</p>		
選考基準	志望理由書により選考する。 ※場合により、選考のための面接を行うことがあります。		
評価方法	FS ノート、実習報告書の提出および実習時での活動状況、また事前・事後講義の出席状況により総合的に評価する。		

## 2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	環境と文化の都市・飯田のまちづくり、地域の歴史と伝統芸能		
担当者	石神 隆、竹本 研史		
実施時期	8月4日(金)～7日(月)	日程	3泊4日
実施場所	長野県飯田市(中心市街地および郊外山間部) 並びに 妻籠ほか		
協力機関	飯田市役所		
募集人員	40名程度(最大45名)		
学習目的	旧城下町の飯田は、人口約10万人の典型的な地方都市である。ここは人形劇とリンゴ並木を愛し、エコツーリズムを推進する南信州の環境文化都市として有名である。当フィールドスタディでは、人形劇フェスティバルへの参加を通し、また、環境重視のまちづくりをめざす飯田市の行政を多方面から学習することにより、新しい地域のあり方を考える。さらに、伝統的な習俗や行事を見学したり、隣接の妻籠(つまご)宿および馬籠(まごめ)宿の伝統的町並みを視察したりして地域文化の伝承とまちおこしを体験的に学習していく。		
行程	<p>第1日 朝 東京発(全行程 貸切バス) 午後 妻籠および馬籠 歴史的町並み保存地区の視察学習 夕方 飯田着 現地オリエンテーション</p> <p>第2日 午前 現地行政学習(市のビジョン、自治体経営ほか) 午後 まち歩き、人形劇フェスティバル見学 夜 市をあげての祭り「りんごん踊り」参加</p> <p>第3日 午前 現地まちづくり学習(観光政策、環境政策ほか) 午後 伝統的人形浄瑠璃の鑑賞、 夕刻 山間部に移動 自主イベント 懇親会</p> <p>第4日 午前 山間地域の自然や民俗・歴史の現地学習 午後 飯田発 夕刻 東京着 (なお、全行程の貸切バスは、業界大手のkm観光バスを利用)</p>		
宿泊場所	市内中心部 及び 遠山郷(山間部)	施設名	砂払温泉 及び いろいろの宿
費用	約39,000円(宿泊費、食費代、往復 及び 現地交通費 を含む。保険料 別)		
事前・事後 講義の予定	事前講義1回(7月)、事後報告会1回(9月)、事前・事後の各レポートあり		
注意事項	(1)他の大学と一緒に現地の祭りに参加します。 (2)参加許可後に、キャンセルをしないこと。費用負担をしてもらう場合があります。		
選考基準	志望理由書により選考する。(場合により、選考のための追加レポートを課することあり)		
評価方法	現地での積極的な活躍ぶり、事前・事後のレポート(および報告)ほか		

## 2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	地域の特性や既存資源を活かした持続可能なビジネスを考える		
担当者	金藤 正直		
実施時期	8月下旬に開催予定	日程	3泊 4日
実施場所	青森県津軽地方（弘前市、板柳町など中南地域）		
協力機関	弘前市、板柳町、弘前実業高等学校、弘前大学など		
募集人員	20名程度		
学習目的	<p>りんご生産量が日本一である青森県には、りんご産業の基盤組織（自治体、研究機関、農家、製品・加工、流通・販売など）が数多く存在しています。これらの組織は、それぞれ連携して、商品開発や販路開拓・拡大などを行っています。また、最近では、桃、ぶどうなど新たな農作物にも力を入れ、りんご産業と同じような形態（組織間連携）でビジネスを展開しています。このフィールドスタディでは、青森県津軽地方の農作物を活かした産業（フードクラスター、農商工連携、6次産業化）に注目し、それに関連する組織や関係者への調査、また、「まち」の歴史・文化にも考慮に入れながら、次の点について学習する予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・りんごや他の農作物の産業の歴史</li> <li>・りんごや他の農作物の産業に関わる組織とその役割</li> <li>・組織間での連携事業（ビジネスモデル）の現状と課題</li> <li>・課題を解決し、将来展開すべき地域活性化ビジネスの提案</li> </ul>		
行程	<p><b>行程については、訪問先の都合によって変更する場合があります。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日目：現地集合（弘前駅）⇒岩木山麓しらとり農場⇒高校生との食事会⇒弘前市内宿泊</li> <li>・2日目：弘前市・りんご公園⇒津軽ゆめりんごファーム⇒弘前市内宿泊</li> <li>・3日目：板柳町ふるさとセンター ⇒ 市内散策（路地裏探偵団の案内付）⇒弘前市内宿泊</li> <li>・4日目：高大連携によるビジネスモデルの検討会・報告会@弘前実業高等学校⇒現地解散（弘前駅）</li> </ul>		
宿泊場所	住所〒 未定ですが、毎年弘前市内に宿泊	施設名	未定 TEL
費用	約 55,000 円（新幹線＋電車（東京⇄弘前）、宿泊費、貸切バス代、食事代など）。 <b>※参加人数や交通手段によって、費用額が変わります。</b>		
事前・事後 学習の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習（青森県と県内のりんご産業に関する学習）：8月上旬を予定</li> <li>・事後学習（各チームの調査報告・レポートについて）：9月上旬を予定</li> </ul>		
注意事項	<p>(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。</p> <p>(2)高校生と一緒に、訪問先での調査と最終日の検討会・報告会を行いますので、参加される皆様には、高校生と他の参加メンバーへの十分な配慮と、積極的な行動をお願いします。</p>		
選考基準	選考にあたっては、 <b>志望調査票</b> の内容を重視しますが、必要に応じて、その内容に基づいた <b>面接</b> を行います。		
評価方法	事前学習や事後学習への参加や対応、訪問先での参加状況と積極性、検討会・報告会の内容とそれをまとめたレポートをもとに総合的に評価します。		

**※現在未定になっている項目については、今後更新しますので、こまめに掲示を確認してください。**

## 2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	陸・海・空・宇の交通運輸を支える		
担当者	北川徹哉		
実施時期	8/28(月)～9/4(月)の間の4日間	日程	0泊 4日
実施場所	東京都, 茨城県, 千葉県		
協力機関	日本航空, 筑波宇宙センター, 成田国際空港 (そのほか調整中)		
募集人員	25名		
学習目的	社会と経済の基盤である陸上, 海上, 航空の交通運輸を支える維持, 施設, サービスに関する現場, そして地上と宇宙とを結ぶ現場に触れましょう。		
行程	8/30(水) 成田国際空港: 空港施設の視察 8/31(木) 筑波宇宙センター: 宇宙開発拠点の視察 9/1(金) JAL 格納庫: 航空機メンテナンスの視察  また, 8/28(月), 8/29(火), 9/4(月)は予定を空けておいてください。それらのいずれかの日に訪問先が追加となります。確定次第, 参加予定の学生さんに掲示・メール等で連絡します。		
宿泊場所	住所〒	施設名	TEL
費用	【約4,000円 [内訳は下記]】 + 【各自宅から訪問先への往復交通費ほか】 [貸切バス費用一部負担(1,000円程度), 筑波宇宙センター見学費(500円), 成田国際空港見学費(ツアー代: 2,500円程度)など]		
事前・事後 学習の予定	事前講義: 7/15日(土)4限(場所は掲示・メール等で連絡します。) 事後講義: 学生さんと相談して日程を決めたいと思います。		
注意事項	(1)参加許可後にキャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも, 費用負担をしてもらう場合があります。 (2)上記「行程」に記載のように, 8/28, 8/29, 9/4のいずれかに訪問先が追加されますので予定を空けておいてください。確定しましたら, 参加予定の学生さんに掲示・メール等で連絡します。		
選考基準	・学年相応の本コースへの志望理由があること。 ・その他, 応募状況によって判断します。 ・本コースは社会人学生には向きません。		
評価方法	事前・事後講義, 現地視察の参加状況とレポートの内容をもとに評価します。		

## 2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	東京いー散歩		
担当者	後藤 彌彦		
実施時期	9月5日 7日 12日 14日	日程	0泊 4日
実施場所	東京23区内		
協力機関	未定		
募集人員	10人		
学習目的	江戸と東京の歴史的遺産及び文化的遺産、環境と法律に関する資料館、公園施設等を訪ね、今後の都市環境、都市景観、都市の緑を考える。		
行程	行程案 9月 5日 虎ノ門から霞が関、日比谷公園、(皇居前広場) 7日 清澄白河から隅田川、両国へ 12日 上野から本郷、水道橋へ 14日 王子から駒込、巣鴨へ		
宿泊場所	住所〒	施設名	TEL
費用	有料施設利用料約1000円 昼食代 保険料 800円を予定		
事前・事後 学習の予定	各1回程度 金曜 6限を予定		
注意事項	(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。		
選考基準	申し込みが多い場合 宿泊を伴うFSへの参加が困難な人 3年以上でまだFSに参加していない人 後藤の講義、研究会を受講済み又は受講中の人(FSが講義に関連)を優先するので、これらに該当する人は、申し込みに記入して下さい。 その次は、申し込み理由に納得できる人を選考します。		
評価方法	講義と現地への参加状況とレポートによる。		

## 2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	文学から「外」へ開く——金沢・能登における文学の風景と文化について		
担当者	竹本 研史、杉戸 信彦		
実施時期	2017年8月22日(火)から25日(金)まで	日程	3泊 4日
実施場所	石川県金沢市・七尾市・志賀町		
協力機関	金沢大学・大野こまちなみ研究所、新潟大学、直源醤油など		
募集人員	15名程度		
学習目的	<p>文学作品の舞台。文字で描写されるその姿は、読み手の想像力を大いに掻き立ててくれますが、同時に、読み手である私たちはその実際の光景を確認してみたくなくなります。作品の舞台として設定されている時代と現代とでは、もちろん景観が明らかに異なりますし、一方で、ある程度、街並み全体も含め、その場所の景観が保存されているところもあります。</p> <p>さて、文字で表象される世界と実際に体感する光景とは、どれほど差異があるのでしょうか。また、その地域出身の作家とよその地域出身の作家とでは地域の描き方にどのような違いが現れるのでしょうか。本企画は、3人の文豪を輩出した金沢など、石川県を舞台にして、文字芸術の可能性を問い直すことが目的です。</p>		
行程	<p><b>1日目 8/22 (火)：</b>現地集合(ホテル集合)——(路線バス)→犀川流域、浅野川流域を歩く——(路線バス)→ホテル</p> <p><b>2日目 8/23 (水)：</b>ホテル——(貸切バス)→和倉温泉周辺散策——(貸切バス)→巖門→ヤセの断崖——(貸切バス)→ホテル</p> <p><b>3日目 8/24 (木)：</b>ホテル——(路線バス)→金沢市大野町訪問(街並み保存、醤油づくり見学)——(路線バス)→妙立寺——(路線バス)→ホテル</p> <p><b>4日目 8/25 (金)：</b>ホテル——(路線バス)→成巽閣→兼六園</p>		
宿泊場所	金沢市内のビジネスホテル (2名1室、朝食つき)	施設名	ホテルルートイン金沢駅前 Tel : 076-232-3111
費用	<p>約25,000円(宿泊費、プログラム参加料、旅行保険代など)</p> <p>昼食代、夕食代、金沢市内の路線バスなどの現地交通費は別途必要です。</p> <p>2日目の能登半島への貸切バスの費用負担はなしの予定です。</p>		
事前・事後 学習の予定	<p><b>事前学習：</b>6-8月に3回実施。金沢・能登文化の概観講義。本企画で訪れる場所と関連の深い文学作品の精読。鏡花らに所縁のある場所を中心とした神楽坂探訪。</p> <p><b>事後学習：</b>9-10月に1、2回実施。詳細は後日お伝えします。</p>		
注意事項	<p>(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。</p> <p>(2) <u>金沢までの交通費の目安：(参考)北陸新幹線「かがやき」(全車指定)往復28,640円、ただし、学割を使えば、運賃は2割引になります。</u></p> <p>(3) 事前学習の欄に記載しているように、文学作品の精読をしますので、<u>文学に関心を持っている方のご参加を強く希望します。</u></p> <p>(4) 夏の金沢は非常に暑いです。しっかりと熱中症対策をして臨んでください。</p> <p>(5) 研究会に所属している方は、<u>所属研究会名を志望調査票に明記してください。</u></p> <p>(6) 本企画について、研究室で個別相談に応じます。竹本までご連絡ください。</p>		
選考基準	<p>応募者多数の場合は、志望調査票に加えて、<u>2,000字以上のレポートを課します</u>【<u>訂正：レポートを課すことがあります</u>】。課題については、5月15日(月)ごろ教員掲示板に掲示しますので、必ずそちらをご確認ください。</p>		
評価方法	事前・事後学習への参加、現地学習での参加姿勢、提出レポートによる総合的評価。		

## 2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	科学博物館で学ぶ		
担当者	谷本勉		
実施時期	各自の計画による（夏期休暇中）	日程	4日以上
実施場所	国立科学博物館（東京）他、各自の関心に応じて決定します。		
協力機関	特になし		
募集人員	20人		
学習目的	市民の科学リテラシー（身につけておくべき科学の知識と素養＝科学力）を高めることを期待されている各地の科学博物館で、各自の関心のあるテーマを見つけて、自身の科学リテラシーを向上させると共に、科学博物館利用のノウハウを修得することを目的とします。		
行程	例えば首都圏の、国立科学博物館（東京）、千葉県立中央博物館（千葉市）、生命の星地球博物館（小田原市）、埼玉県立自然史博物館（長瀬町）など、各地の科学博物館で行われるさまざまな企画に通算4日以上参加して、大学の外の知の現場を体験し、自然環境について多面的に学ぶこととなります。		
宿泊場所	原則日帰り学習ですが、宿泊を要する企画に参加するのも可能です。	施設名	各地の科学博物館など
費用	企画によって受講料が必要なものもありますが、原則的には実施場所までの交通費、入館料、食事代、と保険料金が主な費用となります。		
事前・事後学習の予定	6月中旬に説明会を行います。 事前・事後学習は受講者と相談して決定します。		
注意事項	(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2) グループ学習ではなく、個人参加型のフィールドスタディです。自分で博物館の企画を調べ、参加し、報告することが必要となります。		
選考基準	受講者は志望調査票の記述内容に基づいて選考します。		
評価方法	事前の計画書と事後の報告書を中心にして総合的に評価します。		

## 2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	震災と地域再生－石巻市内と北上町の震災復興の現在－		
担当者	西城戸誠・杉戸信彦・高橋五月		
実施時期	2017年9月1日～4日（予定）	日程	3泊 4日
実施場所	宮城県石巻市、仙台市		
協力機関	みやぎ連携復興センター、みらいサポート石巻、きたかみインボルブ、ピースポ ートいしのまき		
募集人員	20名程度（参加者が10名に満たない場合は、催行を中止することがある）		
学習目的	津波被災地である石巻市の市街地と半島部の双方を訪問し、震災からの地域再生、 復興の現状と今後の課題についての理解を深める。		
行程	1日目：石巻駅集合、石巻市内で震災復興活動のレクチャー 2日目：震災語り部とあるく被災地跡と震災伝承の現場 3日目：北上町の生業、高台移転後の生活を学ぶ 4日目：震災と地域再生を考えるワークショップ、宮城県全体の復興支援を学ぶ（仙 台駅解散）  （内容は変更することがあります）		
宿泊場所	住所〒 石巻市内（2泊）、北上町内（1泊）	施設名	TEL
費用	約 40,000～42,000 円（往復の交通費は含まない）		
事前・事後 学習の予定	6月～7月にかけて、水曜日の6,7時限目を実施する		
注意事項	(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、 費用負担をしてもらう場合があります。 (2) 事前講義の日程については、後日掲示します。各自、確認してください。 (3) 教科書：『震災と地域再生』（法政大学出版局）（必ず購入すること。著者割あ り（¥3,240→¥2,592）） (4) SCOPE 学生および大学院生（サステイナビリティ専攻）が参加する場合もあり ます。		
選考基準	エントリーシートで判断ができない場合は、面接もしくは追加レポートによって 選抜する。		
評価方法	事前事後学習の参加、フィールドスタディの参加状況、レポートによる		



## 2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	歴史的環境の保全とまちづくりを学ぶ（神奈川県箱根町、東京都内）		
担当者	根崎 光男、板橋 美也		
実施時期	9月4日（月）、9月7日（木）～9月9日（土）	日程	2泊 4日
実施場所	東京都中央区、神奈川県小田原市・箱根町、静岡県三島市		
協力機関	浜離宮恩賜庭園、箱根町教育委員会、箱根町立郷土資料館、箱根関所資料館		
募集人員	15名		
学習目的	史跡および文化的景観などの歴史遺産の現場を見ながら、自治体の文化行政の取り組みを学習する。今回は、旧東海道の石畳や杉並木、箱根関所などが残る神奈川県箱根町、三島大社の門前町として栄えた静岡県三島市、徳川将軍家の別邸であった浜離宮恩賜庭園を事例に考える。		
行程	9月4日（月）午前、浅草の浅草寺の見学ののち、午後、浜離宮恩賜庭園の職員やボランティアガイドから庭園やその保全についての説明を受ける。 9月7日（木）午前、小田原城見学ののち、午後、箱根町立郷土資料館で「文化財保護の現状と課題」についての講義を受ける。 9月8日（金）午前、三島大社や国指定の天然記念物を見学ののち、午後、箱根関所や旧東海道の石畳・杉並木などの説明を受け、現場の状況を確認する。 9月9日（土）、箱根登山鉄道やバスなどにより、芦ノ湖や大涌谷などの観光スポットを見学し、資源を活用した観光のありようを考える。		
宿泊場所	住所〒 未定（箱根町・三島市）	施設名	TEL
費用	約 2万円（宿泊費や一部施設の入館料を含む。 <b>但し、交通費は含まない。</b> ）		
事前・事後 学習の予定	事前講義：①6月24日（土）4時限、②7月15日（土）4時限 事後講義：9月30日（土）4時限 <b>講義の場所は、すべてBT24階人間環境学部資料室会議室</b>		
注意事項	(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2) 事前・事後講義、全行程への参加、レポート提出の <b>すべてを満たすことが単位修得の条件</b> になります。		
選考基準	(1) 定員を上回った場合、志望調査票の内容により選考します。 (2) 少なかった場合は、再募集をしますので、教員掲示板をご覧ください。		
評価方法	レポート、事前・事後講義および現地での学習態度などを総合的に評価します。		

## 2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	明治日本の産業革命遺産とエコツーリズムによる地域振興～長崎・島原エリア～		
担当者	長谷川 直哉（竹原 正篤）		
実施時期	2017年9月11日（月）～14（木）	日程	3泊 4日
実施場所	長崎県（長崎市・島原市）		
協力機関	有限会社リボーン [エコツーリズム・ネットワーク]		
募集人員	25～30名		
学習目的	2015年に世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」として正式登録された旧端島炭鉱（通称：軍艦島）などの産業遺産を巡り、日本の近代化を支えたエネルギー産業について学ぶ。また、島原地区におけるキリシタン遺跡や文化を活用したエコツーリズムによる地域振興の実態を学ぶ。		
行程	<p>第1日目（9/11） 午前：移動 [東京（羽田）～長崎] 午後：長崎市内の産業遺産・キリスト教遺跡訪問</p> <p>第2日目（9/12） 午前：軍艦島（端島炭鉱遺跡）に訪問（NPO法人によるレクチャー） 午後：外国人居留地・出島等訪問（NPO法人によるレクチャー）</p> <p>第3日目（9/13） 午前：移動 [長崎～島原] 午後：キリシタン文化遺跡訪問（NPO法人によるレクチャー）</p> <p>第4日目（9/10） 午前：キリシタン文化遺跡訪問（NPO法人によるレクチャー） 午後：現地解散</p>		
宿泊場所	住所〒 長崎県長崎市・島原市	施設名	詳細は事前学習時に説明 Tel
費用	<p>約100,000円 [往復航空券、現地バス代、宿泊費（3泊6食）、入館料、講師謝金等を含む] ※但し、昼食代は各自負担です。</p>		
事前・事後 学習の予定	<p>事前学習 7月17日（火）6限 18：30～20：00（場所は後日連絡） 事後学習 9月26日（火）6限 18：30～20：00（教室は後日連絡）</p>		
注意事項	参加許可後にキャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。		
選考基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>志望調査票に記載された応募理由を重視して選考します。</li> <li>現代企業論、ビジネスヒストリー、CSR論Ⅰ・Ⅱのうち、いずれかを履修した者を優先することがあります。</li> </ul>		
評価方法	事前・事後学習、現地での参加態度、レポート内容を基に総合的に判断します。		

## 2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	金属リサイクルと土壌浄化		
担当者	藤倉 良		
実施時期	8月7日(月)～10日(木)	日程	3泊4日
実施場所	秋田県 大館市及び鹿角郡小坂町		
協力機関	DOWAエコシステム株式会社、メイプルツアーズ		
募集人員	15名(別枠でSCOPE生が若干名加わる可能性もあります)		
学習目的	DOWAグループは長年の鉱山・製錬事業の中で、貴金属を回収する高い技術を確立し、これを基に22種類の元素のリサイクルを可能としています。本FSでは、日本が世界に誇る金属リサイクルや土壌浄化、自動車リサイクルなどを見学し、その技術について学習します。		
行程	7日(月)盛岡駅13:00集合 小岩井農場 環境・酪農コース 8日(火)小坂地区 小坂製錬(金属リサイクル)、グリーンフィル小坂(最終処分場) エコシステム小坂(焼却施設)、旧鉱山事務所 9日(水)大館地区 エコリサイクル、エコシステム秋田(焼却施設、低濃度PCB処理施設) エコシステム花岡(土壌浄化施設、最終処分場) 10日(木) 尾去沢鉱山見学(予定) 盛岡駅で解散		
宿泊場所	住所〒 大館市内のビジネスホテルのシングルルームに宿泊を予定しています。	施設名	Tel
費用	約5万円(宿泊、借上げバス 小岩井農場見学料等を含む) 盛岡駅で集合・解散するため、盛岡駅までの往復交通費は各自が別途負担です。		
事前・事後 学習の予定	事前学習 8月3日(木)・4日(金)の3・4時限 事後学習 9月15日(金)の4時限		
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。</li> <li>見学内容が若干変更する場合があります。</li> </ul>		
選考基準	応募者が定員を上回った場合、2年生以上はGPA(2016年度実施FSのボーダーラインは2.6でした)で、1年生は応募動機で選抜します。		
評価方法	参加状況と事後に提出するレポートで評価します。		

## 2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	湾岸がささえる都市の環境 - エネルギー・廃棄物・リサイクル -		
担当者	松本倫明		
実施時期	8月21日～25日のうち4日間	日程	0泊 4日
実施場所	東京都江東区、港区、神奈川県横浜市、神奈川県川崎市（予定）		
協力機関	東京都環境公社、東京都下水道局、J-POWER 電源開発(株)、東京ガス(株)、新日本石油精製(株)、川崎市、岩谷産業(株)ほか（予定）		
募集人員	17名程度		
学習目的	このコースでは、都市の環境を支える科学技術を学びます。そのためにエネルギー・廃棄物・リサイクル関連の施設を訪問します。訪問先は東京湾中央防波堤をはじめとする東京臨海部、ならびに横浜港根岸の工場群です。すべて日帰りで行い宿泊を伴いません。		
行程	8月21日～25日のうち4日間で以下の施設を訪問します。現在、受け入れ期間と日程を調整中です。具体的な行程は6月上旬に伝えます。 (1) 廃情報機器類等リサイクル施設 (株)フューチャー・エコロジー (2) がれき類等リサイクル施設 成友興業(株) (3) 中央防波堤外側処分場及び内側埋立地清掃関連施設 (4) 磯子火力発電所 (J-POWER 電源開発(株)) (5) 東京ガス(株)根岸工場 LNG スクエア (6) 新日本石油精製(株)根岸製油所 (7) メガソーラー発電 (かわさきエコ暮らし未来館) (8) 岩谷産業(株)水素ステーション芝公園 (9) 東京都水再生センター		
宿泊場所	住所〒	施設名	TEL
費用	約10,000円（交通費・食費を含む）		
事前・事後 学習の予定	事前講義：7月8日（土）4限、7月22日（土）4限 事後講義：9月23日（土）4限、10月7日（土）4限 場所は大学内のゼミ室で行う。		
注意事項	(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。訪問先に正確な人数を知らせ、受け入れの準備をしていただきますので、その後の変更はできません。 (2) 事前講義・事後講義の全日程に出席してください。 (3) SCOPE プログラムの留学生も参加します。 (4) 志望調査票に志望理由の他に <u>英語のスキル</u> を記入してください。英語のスキルは選考の判定には用いません。 例：「英会話ができます」「読み書きはできますが、会話は苦手です」など		
選考基準	応募者数が募集定員を上回った場合には、志望調査票にもとづいて選考します。		
評価方法	事前講義・現地実習・事後講義の参加状況と、レポートによって成績を評価する。		

## 2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	開発途上国の人々の暮らしと国際協力の現場を五感で知る —内戦の遺産と現代カンボジア社会—		
担当者	武貞 稔彦、岡松 暁子		
実施時期	2017年8月27日(日)～9月3日(日)	日程	7泊 8日
実施場所	カンボジア王国 (プノンペン、シェムリアップ)		
協力機関	JICA (国際協力機構)、CMAC (Cambodian Mine Action Centre) など		
募集人員	25名程度		
学習目的	本フィールドスタディの目的は、経済協力や援助の対象となっている開発途上国とよばれる国や地域の暮らしや人々について、五感を使って知ることです。今年度は典型的な途上国のイメージとして想起されることの多いカンボジアを訪問し、 <b>現地の現実とイメージの異同</b> について考えます。とりわけ、内戦の遺産である多数の「地雷や不発弾」が人々の生活を未だに脅かしている現状と、いわゆる「貧困」や「幸福」、「平和」との関係について、異国人である日本人が理解/想像できる範囲という限界も意識しつつ考えることを目的とします。また国際秩序形成の役割を担う国際法と人々の暮らしとの関係についても考えます。		
行程	概要のみ(詳細は後日確定) 第1日 東京発 プノンペン入り 第2日 午前 JICA カンボジア事務所訪問、 午後 プノンペン近郊視察 (JICA 支援プロジェクト、ツールスレン虐殺博物館等) 第3日 午前 CMAC 訪問 地雷除去に関するレクチャー受講 午後 地雷除去活動 NGO 訪問など 陸路シェムリアップに移動 第4日 シェムリアップ近郊にて地雷除去現場視察など 第5日 アンコールワット遺跡見学、ソーシャルビジネスの現場訪問など 第6日 タイ国境のプレアビヒア寺院見学 第7日 シェムリアップ近郊小学校、トンレサップ湖訪問など 夜 シェムリアップ空港発 第8日 東京着		
宿泊場所	プノンペン2泊 シェムリアップ4泊 機中1泊(全て予定)	施設名	サンウェイホテル(プノンペン) オールソンアンコールパラダイスホテル(シェムリアップ)
費用	・約20万円(航空運賃、宿泊費、現地交通費、施設入場料、一部食事等を含む。ただし今後変動の可能性があります。) ・海外FS奨励金適用あり(詳細は事前説明会にて説明予定)		

<p>事前・事後 学習の予定</p>	<p>事前講義および事後講義／報告会は以下の日程で実施予定（変更可能性あり）。原則全回出席すること。</p> <p>事前1) 5月27日（土）4～5限 S202  事前2) 6月3日（土）4～5限 BT0706  事前3) 6月17日（土）4～5限 BT0706  事前4) 6月24日（土）4～5限 BT0706  事前5) 7月8日（土）4～5限 BT0706  事前6) 8月25日（金）3限 BT0706  事後1) 9月23日（土）4～5限 BT0706  事後2) 9月30日（土）4～5限 BT0706  公開事後報告会 10月21日（土）4限 S307</p>
<p>注 意 事 項</p>	<p>(1) 参加決定後にキャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。</p> <p>(2) 参加希望者は以下の日程で開かれる事前説明会のいずれかにできるだけ参加してください。</p> <p>① 4月21日（金）16時50分～17時30分 G602 教室  ② 4月25日（火）12時50分～13時20分 572 教室  ③ 4月26日（水）12時50分～13時20分 BT0805 教室</p> <p>(3) 事前説明会に参加できず、かつ何か応募前に聞いておきたいことがある者は、個別に担当教員に連絡してください。</p> <p>(4) 日程、費用等は今後参加者数などに応じて変更される可能性があります。</p> <p>(5) ビザ取得に当たってパスポートが必要となりますので、参加者は各自で時間に余裕をもってパスポートを準備してください。既に持っている人は有効期限が十分であることを確認してください（帰国予定日から6ヶ月以上有効であることが必要です）。</p> <p>(6) 旅行傷害保険への加入を必須とします。</p> <p>(7) 終了後、学習成果についてのレポートを提出してもらいます。</p> <p>(8) 現地での協調行動や自主性・積極性が必要なことは当然ですが、事前事後学習についても十分に時間を割いて積極的に取り組むことを求めます。</p>
<p>選 考 基 準</p>	<p>(1) 定員を超える参加希望があった場合、志望調査票と面談に基づいて選考を行う可能性があります。</p> <p>(2) <u>志望調査票を提出した人は、BT24階の武貞の掲示板に5月8日から掲示される、面談時間割表の希望の枠に学生証番号を忘れずに記入してください。応募者が一定数を越えた場合は、志望調査票を利用した選考で面談参加者をしぼる可能性があります。そうでなければ調査票提出者全員と一人10分程度の面談をします（書面選考の有無は応募後切後に掲示します）。面談時間割表に都合のつく時間がどうしてもない場合は、個別に武貞宛（履修の手引き参照）に連絡を下さい。</u></p>
<p>評 価 方 法</p>	<p>事前・事後講義への参加、現地での活動、成果レポート等により総合的に評価します。</p>

2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	石垣島・白保におけるサンゴ礁文化継承のとりくみを学ぶ		
担当者	梶 裕史		
実施時期	2018年3月上旬～中旬（秋学期に通知）	日程	4泊 5日
実施場所	沖縄県石垣島・白保集落		
協力機関	NPO 夏花		
募集人員	15名以内		
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「サンゴ礁文化」とは何か、またそれを継承することによどのような意義があるのか、について学ぶ</li> <li>・地域の伝統文化を活かした、住民主体の持続的な地域づくりに寄与するエコツーリズムの組織的なとりくみについて、その具体的プログラムに参加することでその意義を実感する</li> </ul> （地域の生業・生活文化に重点があり、サンゴ礁を健康に保つためには陸上のエコな農業やライフスタイルの実現が不可欠という考え方に立つため、農業など陸上のプログラムも多くなります。）		
行程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>現地集合・解散</b>になります（現地までの往復航空券は各自手配）</li> <li>1日目 夕方までに白保集合</li> <li>2日目～4日目 白保滞在（民泊を含む）。現地の「NPO 夏花」が企画するスタディツアーに参加。しらはサンゴ村におけるレクチャー、沖縄の伝統的な集落景観が残る白保村めぐり、サンゴ礁観察（シュノーケリング）、漁体験、サンゴ礁保全のための「月桃」植え、「白保日曜市」見学、白保の方々との交流会、民泊先の稼業（農業など）体験 etc.</li> <li>5日目 15:00頃 白保で解散</li> </ul>		
宿泊場所	住所 〒 事前講義で伝達	施設名	TEL 事前講義で伝達
費用	約9万円（現地費用5万円＋往復航空券約4万円以内）		
事前・事後 学習の予定	1回目は11月下旬、2回目は2018年2月上旬予定。（秋学期に通知）		
注意事項	(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2)事前講義は必ず出席すること。特に1回目は、ガイドに従いその場で最安の航空券を各自のスマートフォンから予約する作業を行いますので、欠席者は、証明する書類を出せるような事情（急病や身内の急な不幸等）でもない限り、参加キャンセルと見なします。		
選考基準	定員以上の応募があった場合、志望書の内容により選考します。		
評価方法	現地での実習態度、事後レポート		

2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	地域における就労継続支援・生活介護活動への参加 ー障害者とともに同じときを過ごすー		
担当者	國則守生		
実施時期	2018年2月5-23日を予定	日程	合計4日間を選択 (日帰り)
実施場所	〒341-0012 三郷市半田1212-2 (『みどりの風』: 就労支援および生活介護) 〒341-0034 三郷市新和4-601 (『工房・風のうた』生活介護) ほか		
協力機関	社会福祉法人 緑の風福祉会 (障害福祉サービス事業) <www.misato-midorinokaze.org>		
募集人員	10名 (施設受け入れキャパシティの関係から1日当たり訪問者: 4名以下)		
学習目的	知的・精神障害者が地域で生活するために行う作業・活動を通じて地域での障害者福祉活動を理解し、参加学生が個人あるいは連帯してできることを現場で考える。すなわち、短期間であるが、「障がいをもつ仲間が三郷の地で働き、住み、笑顔で暮らしていけることをささえる！」(緑の風福祉会の上記HPより)活動に参加し、持続的可能な地域社会の姿を考える。		
行程	<p>第1日目 } 障害者が行う軽作業 (内職作業、創作活動など)、</p> <p>第2日目 } 廃品回収、散歩、パン販売 (市役所等訪問、</p> <p>第3日目 } 地域での販売) などの就労支援や生活介護の活動を行う。</p> <p>第4日目 } (障害者の方々と一緒に同じときを過ごすことが中心)</p> <p>また、できれば私たちでできる施設業務の各種のお手伝いパンフ作りなども実施することを考えている。</p> <p>(各人の参加日程については希望を事前講義時に申請し、その場で調整後、グループ化する。その後の微調整も可能)</p>		
訪問場所 (日帰り)	日帰り (施設「みどりの風」は武蔵野線・新三郷駅から徒歩5分程度)	施設名	「みどりの風」048-959-1615 「工房・風のうた」048-952-7086
費用	5,000円 (昼食代を含む研修費用)、学部付保の保険料約800円 (学部窓口へ納入) および交通費等を自己負担する。		
事前・事後 学習の予定	事前授業は12月、事後授業は3月上旬に実施予定 (事後授業には施設関係者が来校する予定)。詳細な日時は9月にBT24階の掲示板に発表する。		
注意事項	(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2)事前・事後授業に正当な事由で出られない場合、代替の方法を相談のこと。		
選考基準	応募者数が募集定員を上回った場合には、志望調査票に記載されている志望動機の内容および学年等を総合的に評価し、選抜を行う。場合によっては個別面接を行う (選抜の比率は比較的低いと思われるので、積極的な参加を期待しています)。		
評価方法	フィールド・スタディ計4日間 (制定されているフィールド・ノートの内容を含む) での活動状況 (80%) および事前・事後講義の活動/提出された課題メモ (20%) を総合評価する。ただし、4日間参加、事前・事後講義 (代替を含む) および各種レポート提出は必須とする。		



2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	別府阿蘇地域の地熱・火山活動ー自然環境と生活ー		
担当者	杉戸信彦・竹本研史		
実施時期	2018年3月4～8日（数日遅らす可能性もあり）	日程	4泊5日
実施場所	別府、および阿蘇くじゅう国立公園		
協力機関	京都大学地球熱学研究施設・NPO 法人別府温泉地球博物館		
募集人員	約20名		
学習目的	<p>別府～阿蘇は「豊肥火山地域」に属する世界有数の地熱・火山地域です。住民は豊かな自然環境に寄り添い、同時にリスクと向きあいながら暮らしています。</p> <p>前半は、地熱活動に関連する噴気や温泉、地熱発電、火山地域ならではの景観と噴火の歴史、人類の軌跡、火山噴出物、地形と土地利用に触れます。全員で一緒に巡ります。そして後半は「泉都」別府に焦点を絞り、歴史や文化などに触れたうえで、地熱活動の恩恵とリスクや、観光地としての魅力と課題などをテーマとして班ごとにフィールドワークを実施し「課題発見」を目指します。各班のテーマや行動計画は事前学習で検討します。</p>		
行程	<p><u>1日目</u> 夕刻に大阪南港集合 夜行フェリー（瀬戸内航路）で別府へ</p> <p><u>2日目</u> 明け方、別府観光港到着、午前は明礬～鉄輪地域を歩き、午後は京都大学地球熱学研究施設を訪問</p> <p><u>3日目</u> 日帰りバス巡検：別府～由布～くじゅう連山～大観峰（阿蘇中央火口丘を展望）～八丁原地熱発電所～別府 *途中で地形や地層などを観察</p> <p><u>4日目</u> 午前は別府市内巡検（歴史や文化など）、午後はフィールドワーク</p> <p><u>5日目</u> 午前はフィールドワーク お昼前後に別府市内で解散予定</p> <p>（注）状況に応じて順番入替えなどの変更の可能性があります。</p>		
宿泊場所	別府市内	施設名	鉄輪（かんなわ）温泉 *注意事項(3)参照
費用	<p>約31,000円（フェリー代・1泊2食3泊分・プログラム参加料・旅行保険料）</p> <p>・昼食代や現地交通費などが別途かかります。</p> <p>・日帰りバス巡検のバス代負担はなしの予定です。</p>		
事前・事後学習の予定	<p>ガイダンス 10月後半に開催予定。詳細は後日お伝えします。</p> <p>事前学習 12～2月に3回実施。詳細は別途お伝えします。</p> <p>事後学習 4月に2回実施。詳細は別途お伝えします。</p>		
注意事項	<p>(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。</p> <p>(2) 東京→大阪南港、および別府→東京は、新幹線を使う場合、それぞれ約15,000円・25,000円です。教育上の理由により別府直接集合は原則認めません。</p> <p>(3) 宿は鉄輪温泉にある「かんなわゆの香」「国東荘」が候補です。下見済です。学生向け割引プランです。予約状況によっては別府温泉など他も検討します。</p> <p>(4) 野外で地形や地層などを観察します。衣服や靴など装備に注意してください。</p> <p>(5) 地熱・火山活動のもつリスク（高温、ガスなど）に十分注意してください。</p> <p>(6) 志望者数が定員を超過した場合、志望調査票に基づいて選考を行います。</p> <p>(7) 志望者数が一定数に満たないなどの場合、実施しないことがあります。</p>		
選考基準	主に本企画への理解度や問題意識、熱意の観点から選考します。		
評価方法	参加と学習姿勢、事後学習（発表とレポート）に基づいて評価します。		

## II-4

## 2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	津軽鉄道でむすぶまちづくり		
担当者	西城戸誠・長峰登記夫		
実施時期	2018年2月17日～20日（確定）	日程	3泊4日
実施場所	青森県五所川原市、中泊町、つがる市ほか		
協力機関	企業組合でる・そーれ 津軽鉄道サポーターズクラブ		
募集人員	15～20名程度（参加者が10名に満たない場合は、催行を中止することがある）		
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくり、まちづくり、着地型観光の実際を学ぶ</li> <li>・「ふるさと」とは何か、「地域」で生きていくとはどういうことかを考える</li> <li>・「食」を中心とした六次産業化、映画制作、コミュニティカフェによるまちづくりを学ぶ</li> </ul>		
行程	<p>1日目 五所川原市内街歩き、立佞武多の館訪問 コミュニティカフェとまちづくり（講演）、農家民泊宿泊</p> <p>2日目 津軽鉄道（ストーブ列車）、斜陽館・新座敷、</p> <p>3日目 映画作りと地域観光、冬の農業から考える「食文化」と観光、ワークショップ開催。</p> <p>4日目 十三湖と冬の漁業、まとめのワークショップ</p> <p>内容は変わることがあります</p>		
宿泊場所	住所〒 五所川原、中泊町、つがる市等	施設名	TEL
費用	約 40,000～42,000 円（往復の交通費は含まない）		
事前・事後 学習の予定	ガイダンス1回（10月中）、事前学習会3回（11, 12, 1月に実施）、事後学習会1回（3月 or 4月上旬に実施） （事前講義の日程については、後日掲示します）		
注意事項	<p>(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。</p> <p>(2) 募集に際して、レポート課題を課す予定。詳細は後日、発表する。</p> <p>(3) 現地（五所川原）集合であり、前日に深夜バスか、当日、新幹線（はやぶさ1号）に乗車できること。</p> <p>(4) 受け入れ団体の都合で、参加学生の年齢制限があります（おおむね30歳まで）。</p> <p>(5) 10/31 昼休みに説明会を開催します（会場は、掲示を確認）。</p>		
選考基準	エントリーシートで判断ができない場合は、面接もしくは追加レポートによって選抜する。		
評価方法	事前事後学習の参加、フィールドスタディの参加状況、レポートによる。		

フィールドスタディⅡ期・津軽鉄道で結ぶまちづくり（奥津軽 FS）・応募に関して

「津軽鉄道で結ぶまちづくり」（奥津軽 FS）に参加希望の学生は、所定の応募用紙に志望動機を執筆した上で、下記の課題を提出してください。

課題：小島聡・西城戸誠（編著）『フィールドから考える地域環境』（ミネルヴァ書房）の第 9 章を読み、以下の点について論述してください。

（a） フィールドワークとフィールド体験の違いとは何か。また、一般的にフィールドスタディ、体験に参加する前に行うべき作業は何か、簡単に整理して述べよ。

（B） フィールドにおける「よそ者」の役割について、「この奥津軽フィールドスタディの参加者は、観光客としての主体ではなく、「実験台」（モニター）である」という表現の意味を指摘しながら、説明せよ。

字数：3000 字以上（A4 で 2-3 枚以上） 提出期限：2017 年 11 月 13 日まで

提出先：人間環境学部資料室、58 年館学務前

2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	平田オリザの演劇ワークショップ		
担当者	平野井ちえ子		
実施時期	2018年2月26日(月)～3月1日(木)	日程	日帰り4日間
実施場所	こまばアゴラ劇場5F青年団稽古場(目黒区駒場1-11-13)		
協力機関	平田オリザ氏・劇団青年団		
募集人員	25名		
学習目的	演劇ワークショップを通じて、演劇とは何か、コミュニケーションとは何か、その社会的役割も含めて、理解を深めます。演劇作品に対する鑑賞眼を養います。		
行程	<p>事前講義：予備学習とワークショップ受講上の注意事項伝達</p> <p>ワークショップ1日目：コミュニケーションゲーム、 講義・社会における演劇の役割</p> <p>ワークショップ2日目：テキストを使ったワークショップ、 講義・現代演劇とは何か</p> <p>ワークショップ3日目：テキストを使ったワークショップ、 講義・劇場の役割</p> <p>ワークショップ4日目：簡単な演劇創作と発表</p> <p>事後講義：フィールドスタディ学習レポート発表とディスカッション</p>		
宿泊場所	該当しない。	施設名	該当しない。
費用	30,000円程度(講師謝礼・稽古場使用料を含む)		
事前・事後 学習の予定	<p>事前講義：2018年2月17日(土)@資料室会議室</p> <p>事後講義：2018年3月5日(月)@資料室会議室(予定)</p>		
注意事項	<p>(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。</p> <p>(2)事前・事後の講義を含めて、必ず全行程通しで参加してください。遅刻・早退も厳禁です。通しで参加しない場合、単位は取得できません。</p> <p>(3)ワークショップ当日は、動きやすく汚れが気にならない服装で来てください。</p> <p>(4)事後講義の日程は、暫定的なものです。</p> <p>(5)説明会の詳細は、別途BT24階の平野井掲示板でお知らせします。<u>履修希望者は出席してください。</u></p>		
選考基準	志望理由書の内容も大切ですが、2015年度に「比較演劇論Ⅰ・Ⅱ」を履修しているか、2017年度に履修を予定していることが望ましいです。		
評価方法	講義とワークショップの参加内容、事後レポートから総合的に評価します。		

2017年度 フィールドスタディ実施企画


テーマ タイトル	<b>国際平和の追求ー国際法の現場を知るー</b>		
担当者	岡松 暁子、北川 徹哉		
実施時期	2018年3月9日～16日（予定）*数日ずれる可能性有	日程	6泊 8日
実施場所	オランダ（アムステルダム、ハーグ、デルフト） ドイツ（ハンブルク、リュubeck）		
協力機関	在オランダ日本国大使館、国際司法裁判所、国際刑事裁判所、化学兵器禁止機関、 在ハンブルク日本国総領事館、国際海洋法裁判所		
募集人員	約25名 *4年生は単位の取得はできず、また奨励金給付の対象とはならないが、参加は可。		
学習目的	国際法が実際に使われている現場（国際裁判所、化学兵器禁止機関）を訪れ、国際社会の秩序がどのように維持されているのかを体感する。また、国際法により保護されているリュubeck旧市街地（世界遺産）を訪れ、見識を深める。さらに、アンネ・フランクの隠れ家やノイエンガンメ強制収容所を見学し、ナチスによるユダヤ人迫害について学ぶ。その他、外国の歴史や文化に触れ、日本を振り返りつつ、国際感覚を身に着ける。		
行程	（若干の変更の可能性有） 1日目 成田→アムステルダム 2日目 アンネ・フランクの家、美術館、市内観光（アムステルダム） 3・4日目 国際司法裁判所、国際刑事裁判所、化学兵器禁止機関、 日本大使館訪問、など（ハーグ） 国際法の父・グロティウスの生地見学（デルフト） 5日目 ハーグ→ハンブルク 市内観光（ハンブルク） 6日目 国際海洋法裁判所（ハンブルク） 7日目 世界遺産の街訪問（リュubeck）、ノイエンガンメ強制収容所 8日目→9日目 ハンブルク→スキポール→成田		
宿泊場所	いずれの都市も、市内のホテルに宿泊 詳細は後日揭示。	施設名	後日揭示。
費用	約25～28万円（航空運賃、宿泊費、朝食、昼食、現地交通費、団体旅行中の税金・サービス料・チップ、成田空港施設使用料・旅客サービス料、現地空港税、燃油サーチャージ・航空保険料を含む。但し、燃油サーチャージの額は変更の可能性有。）*夕食代、旅行傷害保険代等は含まれない。金額は参加人数によって変化する。 <b>奨励金制度（9万円）適用有。</b>		
事前・事後学習の予定	・事前講義5回程度、事後講義2回（後期）を予定。日程は後日揭示する。 ・説明会は、①5月9日（火）12時50分、572教室 ②9月26日（火）12時50分、563教室 ③9月27日（水）12時50分、0501教室。		
注意事項	(1)参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2)出発までに、パスポートを取得しておくこと。（有効期間が帰国日以降3か月以上あること） (3)はしかの予防接種を済ませていること。 (4)旅行傷害保険に加入すること。		
選考基準	応募者が多い場合には、意欲、問題意識等について、面接により選考する。		
評価方法	事前・事後講義への参加、現地での活動、レポート等により総合的に評価する。		

2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	フィールドスタディ・イン・オーストラリア：英語と自然環境保護を学ぶ		
担当者	ストックウェル・エスター		
実施時期	2月末から3月半ばにかけての2週間程度	日程	14泊15日
実施場所	オーストラリア、クィーンズランド州ゴールドコーストにある、 ボンド大学付属語学学校(Bond University、Bond College)		
協力機関	ボンド大学付属語学学校(Bond College)		
募集人員	20名程度		
学習目的	語学学習とともに異文化の理解、オーストラリアの自然環境の保護などについて学びます。		
行程	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 語学学習（英語）</li> <li>● 環境保護についての学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 世界で三番目に大きい砂の島、Tangalooma 島に1泊2日の日程で、島の原住民の生活方法、島の自然環境と野生生物の保護などについて学ぶと同時に、野生のイルカに直接餌を与えるという貴重な体験をもちます。そして、自然環境をどのようにエコツーリズムと関連させているかなどを体験しながら学びます。</li> <li>➤ 世界自然遺産として登録されている Gondwana Rainforests of Australia 国立公園を訪問し、自然環境と野生生物について学びます。ラミントン国立公園には、亜熱帯、乾燥、温帯、寒帯の気候に属する植物が生息していて、樹海、洞窟、滝など太古の自然を思わせる景観が広がっています。</li> </ul> </li> <li>● オーストラリア人の家族にホームステイ オーストラリア人の家庭で生活をともにしながら、オーストラリア人の生活様式や文化、日本との違い等について実体験をとおして学びます。</li> </ul>		
宿泊場所	住所〒	施設名	ホームステイ Tel: +61 7 5595 2651 (Bond College)
費用	約35万円（航空運賃、英語の授業料やフィールドスタディの参加費、ホームステイでの滞在費等を含みますが、レートの変動などにより変わります。また、大学からの奨励金（9万円）があります。）		
事前・事後 学習の予定	出発前5回、帰国後1回実施しますが、日時は未定です。秋学期になってから掲示で発表します。		
注意事項	参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。		
選考基準	英語が成就な学生だけ選抜することではありません。英語の授業は語学学校でのクラス分けテストの結果によってレベル別に行われます。しかし、説明会の英語の説明が理解できるくらいの英語能力が必要です。それから、応募理由などを参考に参加学生を選抜します。必要に応じて面談することもあります。		
評価方法	事前学習参加、現地での学習態度、FSでの行動、事後学習での英語での発表および英語でのレポートなどで総合的に行います。		

# II-8

## 2017年度 フィールドスタディ実施企画

テーマ タイトル	障がい者福祉の体験 in 台湾		
担当者	朝比奈茂、宮川路子		
実施時期	2018年3月1日(木)～3月5日(月)	日程	4泊5日
実施場所	圓滿戶外劇場 Fulfillment Amphitheatr 台湾 台中南屯區文心路一段 289 號		
協力機関	特定非営利活動法人 NPO ゆきわりそう (担当者: 姥山剛 豊島区南長崎 6-34-7)		
募集人員	10名程度		
学習目的	<p>「NPO ゆきわりそう」が主催する障がい者合唱団活動の一環として、台湾台中市に赴き、ベートーヴェンの第九交響曲「歓喜の歌」を披露する。</p> <p>障がいの有無、国籍、人種、宗教の枠を外し、アジア台湾の地から、障がい者の方々と時間と空間を共有して、「平和」へのメッセージを歌に込め、世界に発信することを目的とする。</p> <p>※写真は講演を予定している圓滿戶外劇場</p>		
行程	別紙参照		
宿泊場所	1日目、2日目 : 台中市 兆品ホテル 3日目、4日目 : 台北市 国賓大飯店		
費用	約10～12万円 (宿泊費、食事、交通費を含む)		
事前・事後 講義の予定	事前講義 : 12月中旬、2月中旬 事後講義 : 3月下旬		
注意事項	<p>1) プログラムを決定したら、実習前にゆきわりそう本部を訪れ、担当者と打ち合わせを兼ねて施設見学などしておくこと。</p> <p>2) 参加許可後に、キャンセルをしないこと。</p> <p>※誓約書の内容に基づき判断致します。</p>		
評価方法	FS ノート、実習報告書の提出および実習時での活動状況、また事前・事後講義の出席状況により総合的に評価する。		

